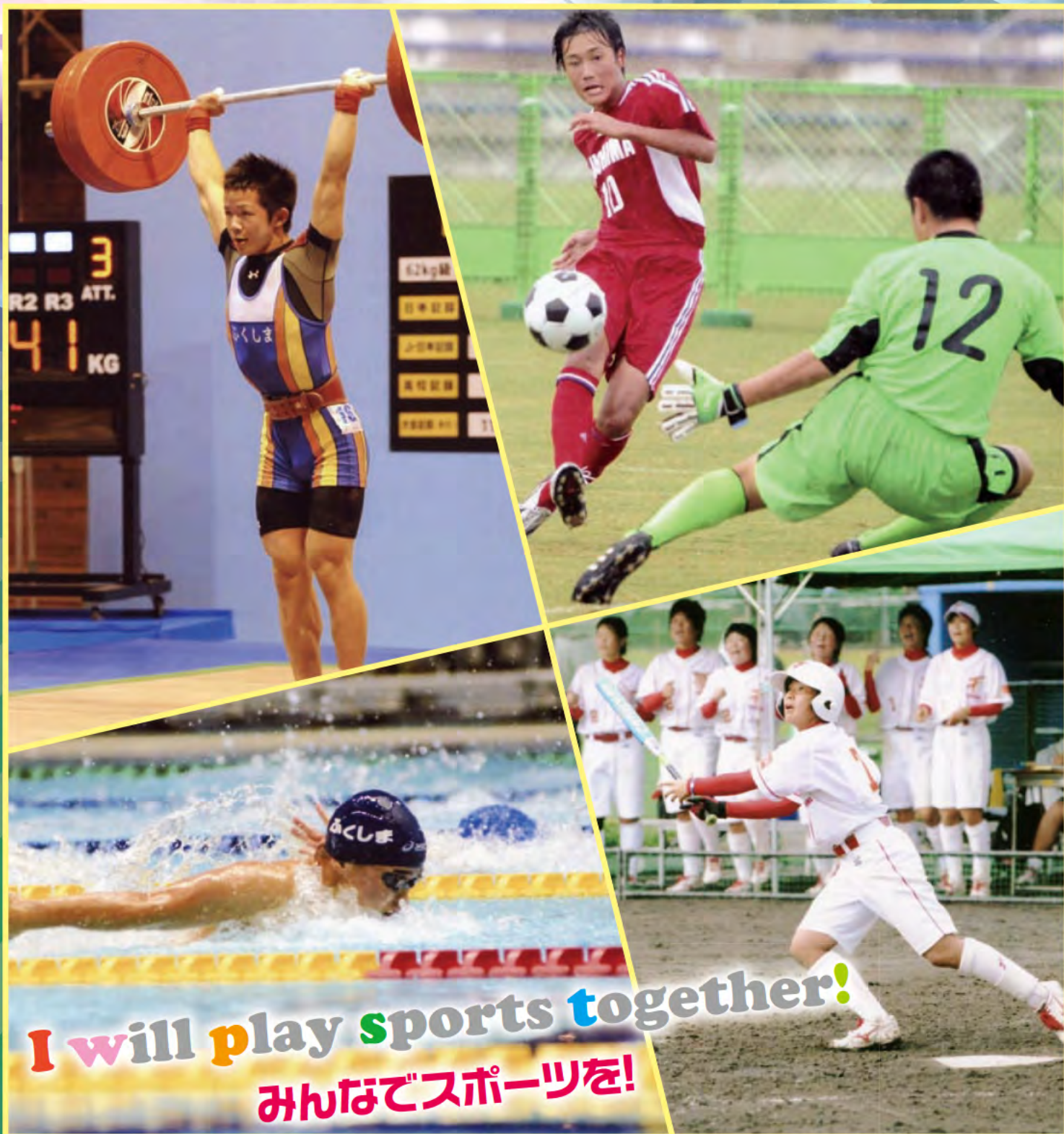


Sports Fukushima

スポーツふくしま

30
2013.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



I will play sports together!

みんなでスポーツを!

巻頭言

復興への繋ぎ

今年4月より公益財団法人へ移行し、新たなスタートを切った県体育協会の専務理事を仰せつかり、その職責の重さをひしひしと感じながら職務に就いている毎日です。微力ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災の発生から、約2年9ヶ月が経過いたしました。本県でも復旧・復興に向けた取り組みが懸命に進められていますが、今なお原子力災害が収束せず14万人以上の方々が故郷を離れている現状であり、生活の再建や産業の再生など、なお険しい道のりの途上にあります。

スポーツの環境においても同様であります。しかし、関係者の地道な努力と、ふくしまを思う気持ちや負けたまるといふ熱意が、今年度の第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」で、3年間続いた男女総合成績40位台から抜けだし、35位という躍進に繋がりました。各競技団体それぞれの努力が「チーム福島」として結集し、この結果を生み出したと考えており、この場をお借りして感謝申し上げます。しかし、私はこの成績は復興へ向けたいくつものつぼみの一つの開花であり、「本県の選手はまだまだいける」と考えております。

先般、県体育協会の今年度の表彰式がありました。本県のスポーツ界に大きく貢献していただいた方々や国体をはじめ各種世界大会・全国大会等で素晴らしい成績を残していただいた選手のみなさんの、表彰式での凛々しくもあり精悍なあの表情、そして祝賀会でのあの笑顔に触れ、スポーツのすばらしさを再確認したところです。みなさんには、今年よりも来年、来年よりも再来年とさらにステップアップしていただき、引き続き、県民にそして全国の福島を応援してくれる方々に、元気と勇気を与えていただけることを期待いたします。

来年本県では、6月に「第98回日本陸上選手権大会」、9月に「第68回全国レクリエーション大会」と陸上競技及び生涯スポーツの全国規模の最高峰の2つの大会を開催する予定であります。日本陸上では、特に本県において

子どもたちの屋外での運動制限による体力の低下が叫ばれる中、子どもたちにトップアスリートが競い合い躍動する姿を実際に観戦したり、選手と触れあってもらうことにより、将来に向け夢や希望を与えられればと考えております。また、全国レク大会は、様々なニュースポーツの競技会や体験教室をはじめ全国各地の方々とスポーツを通じた交流大会として、子供から年配の方々まで、生涯にわたって運動することの大切さ等、文字どおり県民の生涯スポーツの振興に大きく寄与する大会と考えております。この二つの大きな大会は、復興に向け進んでいる福島の姿を大いにアピールする絶好の機会でもあり、来年度の開催が本場に待ち遠しい限りです。

「福島ユナイテッドFC」のサッカーJリーグ昇格の朗報等、県内のスポーツ熱のボルテージは高まっている昨今であります。そして国内では、東京オリンピック・パラリンピックが2020年に開催されることが決定しました。これに関しては、避難しているの方々にとっては「我々のことも忘れないで」という複雑な思いはあるかと思いますが、本県の選手、特にジュニア層には「夢の舞台への出場」という新たな大きな目標ができたのではないのでしょうか。その3年前の平成29年には南東北インターハイが福島・宮城・山形で開催される予定であり、そこで活躍した選手がオリンピックに繋がってくれればと考えております。前回の東京大会には10人の本県選手の出場がありました。今回はその数を上回り、メダルを獲得した選手が、多くの県民の前での凱旋パレードをすることのイメージが頭を離れません。それが何よりも復興のPRとなるのではないのでしょうか。

結びに、今後も引き続き「競技力の向上」「生涯スポーツの振興」の二大目標に向かって努力邁進していく所存ですので、皆様方からのご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人福島県体育協会
専務理事 廣瀬 敬彦



- 1 巻頭言
- 2 第68回 国民体育大会冬季大会成績
- 3 第68回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿
- 7 第68回 国体本大会寄稿
- 9 日本体育協会公認指導員養成講習会
第1回福島県スポーツ指導者研修会
- 10 ふくしまスポーツフェスタ2013
スポーツ医事・トレーニング相談事業
- 11 親子体操教室・実技講習会、インフメーション
- 12 うつくしスポーツセンター事業の様子
- 13 みんなでつくろう総型!
総務部 域スポーツクラブ!
- 14 平成25年度職員名簿
お問い合わせのお願い、

【表紙写真説明】 第68回 国民体育大会 (写真提供: 福島民友新聞社)
ウェイトリフティング(近内三孝選手)/少年男子サッカー/水泳(服部翼選手)/ソフトボール少年女子

第68回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケートアイスホッケー競技会	H25. 1/26(土)～2/1(金)	東京都 東福島県	佐藤 憲保	2	10	5	37	52
	スキー競技会	H25. 2/16(土)～2/19(火)	秋田県 鹿角市	渡部 孝美	1	10	10	46	66
本大会		H25. 9/28(土)～10/8(火) (会期前競技:9/11(水)～15(日))	東京都 調布市 他	宗形 守敏	34	18	57	348	423

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		13点	10点	23点	21位	6点	10点	16点	19位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	—	—	—	—
スキー競技会		0点	10点	10点	23位	0点	10点	10点	17位
本大会		403.5点	370点	773.5点	32位	139点	280点	419点	32位
合計		416.5点	400点	816.5点	35位	145点	300点	445点	34位

3 入賞状況

スケート競技 競技得点 13点 天皇杯 21位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スピード500m	6	3	古川 耀	山梨学院大学 2年
成年男子	スピード2000mR	7	2	野内 俊吾	あぶくま養護学校
				佐藤 健司	福島キヤノン株式会社
				清水 秀昭	財団法人福島県体育協会
				古川 耀	山梨学院大学 2年
少年男子	スピード1500m	8	1	渡邊 晟	郡山商業高等学校 2年
	スピード5000m	8	1	渡邊 晟	郡山商業高等学校 2年
少年女子	スピード1500m	5	4	水澤 彩佳	郡山商業高等学校 2年
少年女子	スピード2000mR	7	2	古川 栞有	郡山商業高等学校 3年
				古川 幸樹	尚志高等学校 2年
				平泉 絵理	郡山商業高等学校 3年
				水澤 彩佳	郡山商業高等学校 2年



総合開会式



千葉麻美選手



旗手 蛭田玲於選手

第68回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿



安部翔一郎選手

●水泳競技 競技得点 51点 天皇杯 15位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	B100m自由形	4	5	服部翼	福島成蹊高等学校 1年
	B100mバタフライ	1	8	服部翼	福島成蹊高等学校 1年
	B100m平泳ぎ	3	6	安部翔一郎	湯本高等学校 1年
	B200m個人メドレー	4	5	加藤樹	福島成蹊高等学校 1年
	B400mメドレーリレー	3	6	加藤樹	福島成蹊高等学校 1年
				安部翔一郎	湯本高等学校 1年
				寺田拓未	湯本高等学校 1年
				服部翼	福島成蹊高等学校 1年
少年女子	A100m自由形	4	5	小松桃子	湯本高等学校 3年
成年男子	飛板飛込	5	4	西川友章	清陵情報高等学校 教員
成年女子	高飛込	3	6	吉田佳世	日本体育大学 4年
少年女子	飛板飛込	3	6	吉田真実	安積第二中学校 3年



水泳 400mメドレーリレー
(加藤樹・安部翔一郎・寺田拓未・服部翼)

●ボート競技 競技得点 5.5点 天皇杯 31位 皇后杯 23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	シングルスカル	6	3	吉川由姫	東北大学 3年
少年女子	シングルスカル	5	2.5	佐々木幸	田村高等学校 3年

●陸上競技 競技得点 42点 天皇杯 16位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	100m	2	7	渡辺真弓	東邦銀行
	三段跳	7	2	五十嵐麻央	福島大学 3年
	ハンマー投げ	6	3	佐藤若菜	宮城教員クラブ
	400m	1	8	千葉麻美	東邦銀行
	女子共通4×100mR	5	4	渡辺真弓	東邦銀行
				千葉麻美	東邦銀行
				熊坂真央	福島成蹊高等学校 3年
				村上穂	福島第四中学校 3年
少年男子	共通円盤投	3	6	吉田惇	平工業高等学校 3年
	Aやり投	7	2	村澤雄平	会津学鳳高等学校 2年
	B110mH	6	3	五十嵐礼	会津学鳳高等学校 1年
	B砲丸投	8	1	布川輝	石神中学校 3年
	共通800m	5	4	小林采記	学法石川高等学校 3年
少年女子	共通やり投	7	2	荒裕子	相馬東高等学校 3年



陸上 女子4×100mリレー
(村上穂・千葉麻美・熊坂真央・渡辺真弓)

二度目の国体

水泳競技 福島成蹊高等学校 服部翼

昨年の中学3年生の時に出場したぎふ清流国体では、私は100メートルの自由形、バタフライ、リレー2種目の計4種目に出場しました。結果は、個人種目2種目はどちらも予選を突破し、自由形が6位、バタフライが4位という結果を出すことができました。また、リレー種目では、メドレーリレーで予選を突破し、チーム一丸となって上位を目指しましたが、残念ながら失格になってしまい、入賞することができませんでした。

ぎふ清流国体が終了したとき、私は、次の東京国体への目標を決めていました。それは、初めて出場したこの国体の結果よりも、さらに良い結果を出し、リレーにおいても、チームが果たすことのできなかった上位入賞を目指すというものでした。その目標を掲げ、一年間、県水泳連盟の合宿やスイミングの練習を積み重ねてきました。

そして、待ちに待った東京国体では、ぎふ清流国体の時と同じ種目に出場しました。昨年掲げた目標を達成し、少しでも福島県へ貢献するという高い意識を持って国体に臨みました。

結果は、自由形で4位、バタフライでは優勝することができました。また、リレー種目では、メドレーリレーで決勝に進出し、3位に入賞することができました。昨年掲げた目標を達成し、福島県に貢献することが出来たと思います。

この結果は、自分一人の力では出すことのできない結果だったと思います。周りの方々の応援や協力があったからこそ、出すことができた結果でした。

これからも協力して下さる方々に感謝し、頑張っていきたいと思います。また、来年の長崎国体にも出場し、福島県に貢献できるように鍛えていきたいと思っています。



佐藤若菜選手



吉田惇選手



渡辺真弓選手



サッカー 少年男子

● サッカー競技 競技得点 40点 天皇杯 9位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		4	40	オビ パウエル	富岡高等学校 1年
				牧野 潤	富岡高等学校 1年
				渡邊 康平	尚志高等学校 1年
				金城ジャスティン俊樹	富岡高等学校 2年
				稲村 知大	尚志高等学校 2年
				吉田 直矢	富岡高等学校 1年
				松井 輝純	尚志高等学校 1年
				中村 駿介	尚志高等学校 2年
				名畑 祐杏	富岡高等学校 1年
				柳原 隆三	尚志高等学校 1年
				小野 寛之	尚志高等学校 1年
				津田 亘介	尚志高等学校 2年
				佐藤 凌輔	尚志高等学校 1年
				石井 凌平	尚志高等学校 1年
				石塚 亮	尚志高等学校 1年
				茂木 星也	尚志高等学校 1年



我妻翔比古選手



田野倉翔太選手

● ボクシング競技 競技得点 7.5点 天皇杯 23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	バンタム級	5	2.5	渡部 哲也	駒澤大学 4年
	ライト級	5	2.5	遠藤 智秀	東洋大学 4年
	ウェルター級	5	2.5	齋藤 晶	拓殖大学 4年



角田友紀選手

● レスリング競技 競技得点 16点 天皇杯 26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマンスタイル55kg級	5	2.5	水野 雄太	水野工務店
	グレコローマンスタイル60kg級	3	5.5	田野倉 翔太	クリナップ(株)
	フリースタイル120kg級	5	2.5	角田 友紀	東京農業大学 4年
少年男子	グレコローマンスタイル60kg級	3	5.5	我妻 翔比古	田島高等学校 3年

● ウェイトリフティング競技 競技得点 53点 天皇杯 5位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級スナッチ	3	6	吉田 真弘	三春町役場
	53kg級C&J	2	7	吉田 真弘	三春町役場
	69kg級スナッチ	2	7	熊川 雄太	拓殖大学 4年
少年男子	53kg級スナッチ	5	4	中野 直樹	川俣高等学校 3年
	53kg級C&J	5	4	中野 直樹	川俣高等学校 3年
	62kg級スナッチ	1	8	近内 三孝	田村高等学校 3年
	62kg級C&J	1	8	近内 三孝	田村高等学校 3年
	94kg級スナッチ	5	4	佐藤 啓隆	福島工業高等学校 2年
	94kg級C&J	4	5	佐藤 啓隆	福島工業高等学校 2年



吉田真弘選手

高校3年間の集大成

ウエイトリフティング競技 田村高等学校 近内三孝

第68回国民体育大会(東京国体)ウエイトリフティング競技において、少年の部(62kg級)で最大の目標であった優勝をすることができました。本大会は絶対に負けられない戦いでした。それは北部九州インターハイを制し、にわかに注目されるようになり、国体福島県選手団の選手代表決意表明を任されました。復興へ向かって一步一步前へ進んでいる福島県の姿を全国の皆さんにPRできる絶好の機会であるとともに、今まで私を支えてくださった地域の方々、学校の先生方、ウエイトリフティング協会の方々、そして家族の応援に応えるための戦いだったからです。

私は高校入学時からこの競技を始めました。全国のライバルたちは小学校時代から競技に触れていて、私にとって彼らは全国で活躍するスーパースターの存在でした。しかし、私は「いつかは追いつき、追い越してやる。」と心に決め練習に没頭しました。何もわからない私に顧問の鈴木宗徹先生は、一から丁寧に最大の配慮を持って多くのことを教えてくれました。そして、少しずつ競技力が向上する度に、「努力することの大切さ。支えてくれる周囲の方々への感謝の気持ち。仲間や自分を信じ、信頼を受ける大切さ。」などを、周囲の方々から学ぶことができました。このウエイトリフティング競技を通して、私は人として大切なことを身に付けることができたと感じています。

全ての思いを込め高校生最後の大会である東京国体に臨み、スナッチ・トータルにおいて国体大会新記録で優勝することができました。今思うと、国体は本当に楽しんで競技することができました。大会当日、県の監督、コーチ、わざわざ応援に来てくれた家族、たくさんの人に支えられてこの優勝を勝ち取れました。ありがとうございました。

今後は大学に進学し、さらに高いレベルで競技を続けます。次の目標は、成年の部で福島のユニフォームを着て表彰台の頂点に立つことです。また、7年後の2020年東京オリンピックを視野に入れ、日々練習に励み、努力を重ねて日本代表として表彰台に立ちたいと考えようになりました。

これからも、謙虚な気持ちを忘れず、目標を達成するために頑張ります。

県民の皆様、ご声援ありがとうございました。



ボクシング 成年男子



齋藤晶選手



4kmチーム・パーシュート(吉田優樹・我妻優弥・緑川竣・久保田元気)

●自転車競技 競技得点 31点 天皇杯 7位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ポイントレース	2	7	緑川竣一	中央大学 3年
少年男子	1kmタイム・トライアル	3	6	西尾澁平	平工業高等学校 3年
男子	4kmチーム・パーシュート	3	18	吉田優樹	日本大学 1年
				我妻優弥	日本大学 3年
				緑川竣一	中央大学 3年
				久保田元気	日本大学 3年

●馬術競技 競技得点 11点 天皇杯 24位 皇后杯 27位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	馬場馬術	6	3	杉本隆雄	東北馬事センター
	自由演技馬場馬術	4	5	杉本隆雄	東北馬事センター
	トップスコア	6	3	吉田学人	東北馬事センター

●相撲競技 競技得点 0点 天皇杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	個人戦	5	0	齋藤健	駒澤大学 2年



杉本隆雄選手



ソフトボール少年女子

●ソフトボール競技 競技得点 44点 天皇杯 12位 皇后杯 6位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子		3	44	鹿目 真実	帝京安積高等学校 3年
				宮川 真子	帝京安積高等学校 3年
				岡部 沙綺	帝京安積高等学校 3年
				鳶 平綾	帝京安積高等学校 3年
				朝倉 早紀	帝京安積高等学校 3年
				鳴原 涼夏	帝京安積高等学校 3年
				小楡山 美咲	帝京安積高等学校 3年
				大塚 あすか	帝京安積高等学校 2年
				渡部 恵理花	福島東稜高等学校 3年
				新田 麗	福島東稜高等学校 3年
				円谷 玲緒奈	郡山東高等学校 3年
				村田 理央	郡山東高等学校 3年
				酒井 秀香	尚志高等学校 3年



剣道 成年男子

●剣道競技 競技得点 12.5点 天皇杯 14位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12.5	武藤 士津夫	福島県警察
				下重 成彌	福島県警察
				原田 賢治	福島県警察
				鈴木 洋隆	塙中学校 教員
				増井 將次	福島県警察



バドミントン(早田・篠田へア)

●バドミントン競技 競技得点 30点 天皇杯 5位 皇后杯 3位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		4	15	高木 美季	日本体育大学 3年
				早田 紗希	ヨネックス(株)
				篠田 未来	専修大学 3年
少年男子		5	7.5	保木 卓朗	富岡高等学校 3年
				小林 優吾	富岡高等学校 3年
				古賀 穂	富岡高等学校 2年
少年女子		5	7.5	濱北 もも	富岡高等学校 2年
				東野 有紗	富岡高等学校 2年
				川上 紗恵奈	富岡高等学校 1年



カヌー競技

●カヌー競技 競技得点 33点 天皇杯 16位 皇后杯 12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヤックシングル500m	2	7	鈴木 康大	(株)久野製作所
成年女子	カヤックシングル500m	6	3	中野 友貴	筑波大学 4年
成年女子	カヤックシングル200m	7	2	中野 友貴	筑波大学 4年
少年男子	カヤックシングル500m	5	4	菅野 寿斗	安達高等学校 3年
少年男子	カヤックシングル200m	5	4	菅野 寿斗	安達高等学校 3年
少年女子	カヤックシングル500m	1	8	小久保 南海	安達高等学校 1年
少年女子	カヤックシングル200m	4	5	小久保 南海	安達高等学校 1年



ボウリング 成年男子

●ボウリング競技 競技得点 27点 天皇杯 10位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属			
成年男子	団体(4人チーム)	2	21	伊藤 丈	(株)東北装美			
				大塚 正	(有)城南製作所			
				林 勇介	(株)プロスタイル			
				中田 明	福浜大一建設(株)			
成年女子	団体(4人チーム)	8	3	斎藤 あ咲	青森中央学院大学 3年			
				石塚 香織	(株)維芯			
				鈴木 英子	日立オートモティブシステムズ(株)			
				志賀 章子	(株)郡山電機製作所			
				団体(2人チーム)	8	3	鈴木 英子	日立オートモティブシステムズ(株)
							志賀 章子	(株)郡山電機製作所



ボウリング 成年女子

●トライアスロン競技 ※トライアスロン競技は公開競技のため競技得点なし

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	0	菊池 日出子	福島県トライアスロン協会

スポーツ祭東京2013を振り返って

サッカー競技少年男子監督 相馬農業高等学校 教諭 齋藤 克幸

今年の少年男子チームは、「福島県を少しでも元気にさせることができるように勇気と覚悟を持って戦おう」を合言葉に、1月から活動をスタートさせました。

チームを始動させるにあたり、今年のチームの目標を大きく2つ設定しました。1つめは、「東北総体を突破して国体出場を決めること」、2つめは「国体決勝戦の舞台である味の素スタジアムで決勝戦を戦うこと」でした。この目標を達成するためには、「団結」したチームを作ること、このチームで1日でも長く1試合でも多く試合がしたいと選手が思える、また応援してくださる方々に感動を与えられるようなプレーをするチーム作りが必要であると考えて強化しました。

私は国体監督を任されて2年になりますが、昨年は初戦で開催県である岐阜県と対戦して、2-3で敗退しました。勝てる試合に負けてしまったという悔しさと責任を感じながら、国体で勝つためには、また福島県を全国レベルに引き上げるにはどうしたらよいかを模索しながらの日々を過ごしてきました。

4月からの東北トレセンマッチ(東北総体のシード権を争う大会)を重ね、徐々にチーム力があがってきていると実感する一方、リーグ戦による公式戦の過密スケジュールから、強化合宿や選手を召集することが難しいといった中、なんとか2位でシード権を獲得して東北総体に臨みました。

東北総体では、初戦で岩手県に勝利した宮城県を相手に、暑さや勝たなければいけないプレッシャー、疲労などの影響で選手の動きが鈍く1-2で敗れたものの、気持ちを上手く切り替えることができ、次の国体出場決定戦で秋田県に4-0で勝利して国体出場を獲得しました。

国体直前には、千葉県市原市で強化合宿を実施して、市立船橋高校や流通経済大学との練習試合を行い、本番に向けた最終調整の中で、たくさんの課題は出たものの、チームが目標に向かって団結していく雰囲気が感じられたので、ある程度の手応えを持って本大会に挑みました。

国体初戦の相手は昨年度準優勝の福岡県でした。福岡県はパワーとスピードを兼ね備えたFWを中心に攻撃力のあるチームで、ボールを動かしながら選手が連動して動き、何度もゴールを脅かされそうになりましたが、体を張った粘り強いディフェンスと読みの鋭いカバーリングで守りきり、試合終了間際に獲得したPKを確実に決めて1-0で勝利しました。

次戦は強豪の山梨県を破って勢いにのる長崎県が相手でした。試合序盤、チームの中心選手2人がアクシデントによる負傷退場になり苦戦が予想されましたが、代わって出場した選手の活躍により、終始試合を支配する理想的な展開の中でゴールを重ねて、4-0で勝利することができました。

準決勝の相手は、ガンバ大阪とセレッソ大阪の選手で構成する優勝候補筆頭の大阪府でした。

高い個人技と洗練されたチーム戦術の前に、試合を完全にコントロールされて失点を重ねられて1-5で敗戦してしまいましたが、格上の相手に最後まで諦めることなく走り続け、自分の力の限界までチャレンジし続けた選手達を見ると、先日の長崎戦で負傷し出場できなかった2人の選手の抜けた穴は大きく、ベストメンバーで戦いたかった悔しい思いと今後選手が成長し続けるために素晴らしい経験をする事ができた満足感がありました。

3位決定戦の相手は、京都パープルサンガの選手を中心に準決勝で優勝した東京都を最後まで苦しめた京都府が相手でした。大阪府同様、レベルの差を実感させられるほどチーム力の差が大きくて、強力な相手攻撃陣の前に粘りを見せられることなく1-8と大差をつけられて敗戦しました。

国体を通して、目標である決勝戦を戦う事はできませんでしたが、全国大会という高いレベルでの公式戦を4試合戦うことができたのは、選手達の今後のサッカー選手として続ける上での財産になり、また福島県としてどのようにすれば全国レベルに引き上げられるかという具体的な課題が明確になったと思うので、素晴らしい経験ができたと思います。今回の経験を来年以降に繋げていければと思っています。

最後になりますが、勝利のために団結して戦ってくれた選手やスタッフ、これまでご支援や応援していただいたすべての皆様へ感謝申し上げます。



初めて掴んだ優勝

カヌー競技 安達高等学校 小久保 南海

五百メートル決勝。私は普段の試合の時よりも緊張せず、とても落ち着いて集中していました。スタートしてから百メートルは周りの選手が視野に入り、とても気が抜けない場面でしたが、二百メートルを過ぎたあたりから周りの選手が見えなくなり、ラスト二百メートルは手応えを感じました。そして、無我夢中でゴールに飛び込みました。念願だった優勝を勝ち取った瞬間でした。これまでの練習でのつらさや苦勞が一瞬に喜びに変わり、無意識に右手を高々と挙げている自分がいました。



昨年のぎふ清流国体は、中学3年生での初めての国体で、自分の力がどこまで通用するのかチャレンジの大会でした。結果は、五百メートル第7位、二百メートル第9位という成績を残すことができ、「決勝に上がる」という目標は達成できました。しかし、今年の国体は違っていました。それは、「勝ちに行く」という目標がとても大きなものだったからです。カヌーの指導者である父からも、「勝たなければならない」と常に言われていたので、私の気持ちも「勝つ」という大きな目標に向かいはじめていました。そして、大会2週間前から放課後の練習に加え、父と二人で早朝練習にも励みました。練習がつかなくて逃げ出したくなったときもありましたが、逃げ出さずに練習に取り組めたのは、「勝つ」という大きな目標があったからです。五百メートル決勝で、落ち着いてスタートラインにつけたのは、この積み上げてきた練習で身に付けた「自信」だったのだと思います。

来年は、今年逃した二百メートルでも優勝し、二冠を達成したいと思っています。そのためには課題を一つ一つクリアし、さらに質の高い練習を積み上げていくことと、絶対に「勝つ」という強い気持ちを持ち、目標を見失わないことです。来年は最高得点を取り、日頃お世話になっている福島県に恩返しができるように頑張りたいと思います。



スポーツ祭東京国体団体戦への思い

ボウリング競技成年男子監督 垣内 泰

昨年のぎふ清流国体の雪辱に向けて東北総体から「団体戦の福島」の復活を合言葉に今年をスタートさせました。

ボウリング競技は個人競技ですが、私自身が団体戦の苦楽の中で育ててもらった中で、頂点に立つチームは個人力の集合体でなく、総合的にチーム力が優れているチームが頂点を獲得できると諸先輩に教えられました。特に年齢別廃止の大分国体以降国体での団体戦は、若手とベテランの融合と核になる選手を有しているチームが勝利を獲得していますし、私も同様な思いで特に4人チーム団体戦の予選は3Gという短期集中が頂点への近道と考え研鑽を積み重ねてきました。また、同時に観戦者にも団体戦が底知れない楽しさを与え魅了できると確信しております。

今年の東北総体では、ここ数年悲願であった4人チーム団体戦を制することで国体への良きスタートができました。東京国体では、個人戦、2人チーム団体戦が終了した時点では、ビッグなゲームをたたき出せず結果も入賞に届きませんでした。しかし、4人チーム団体戦予選開始前に成年女子の2人チーム戦で決勝進出が決定したことで選手の士気も上がり、いつも慎重な予選スタート1G目ですが、若手のストライク連発のスタートダッシュで860点(アベレージ215点)、2G目は880点(アベ220点)、予選最終ゲーム890点で決勝通過を5年ぶりに決め、上位混戦でしたが1位通過の結果で、第51回広島国体から17年ぶりのまた年齢別廃止後初の1位を考え最終日の決勝を迎えることになりました。この結果を受けて、最終日の女子4人チーム戦も1G終了時では18位でしたが驚異的な粘りをみせ予選を5位で通過し、国体初のアベック決勝進出で一層士気が上がりました。しかし、決勝の最終ゲームで大阪が1000点近い驚異的なスコアで追い上げ逆転されて2位という結果に終わりました。団体戦にしては終始安定感のあるゲーム展開でしたので、20点差で大阪チームに敗れ悔しさはありましたが、若手とベテランの融合の上で選手が素晴らしい団体戦パフォーマンスを発揮してくれたことで、結果は素直に受け入れることが出来ました。今後も強い「団体戦の福島」を全国に発信し続けられるようにより一層チーム力向上を図り頂点を目指していきたいと思っています。

最後に、多種多様なお願いをして練習場を提供し協力をいただいた各センターと、福島県の応援団長のなすびさんをはじめ応援をしていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

公益財団法人 日本体育協会公認指導員養成講習会開催

今年度の日本体育協会公認指導員養成講習会は、ソフトテニス・弓道・アイスホッケー・山岳・バドミントンの5競技において、専門科目講習が県内各地で80名を超える受講者を集めて実施されています。

「指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるための資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など種目に応じた科目を30時間以上受講し、その後検定試験を受けます。

日体協公認スポーツ指導員に認定後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



平成25年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会 会津ブロック研修会

「スポーツ指導方法(体罰の根絶をめざして)」「スポーツと栄養について」

福島県スポーツ指導者協議会では、日本体育協会公認スポーツ指導者の義務研修会として年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、10月6日(日)に会津若松市の「公立大学法人会津大学」にて開催しました。

清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表清水隆一先生からは、野球の指導者としての体験談や選手への的確なコーチングの話がありました。

公立藤田総合病院より日本体育協会公認スポーツ栄養士の山崎有理子先生をお迎えし、スポーツ選手と栄養の関わりについて、専門的な立場から講義していただきました。

また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

受講者は、今後の指導に生かそうと、真剣なまなざしで講義に臨んでいました。



第68回全国レクリエーション大会2014福島 プレ大会 ふくしまスポーツフェスタ2013 兼 第33回福島県レクリエーション大会

「ふくしまスポーツフェスタ」は広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資することを目的とし、特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会と福島県が主催しています。

今年は9月13日(金)～15日(日)、21日(土)、22日(日)の5日間、県内各地の会場で開催されました。各競技団体が前日や朝早くから準備を整え、万全の体制で参加者を迎え入れました。各会場では、チーム間や地域間の交流が盛んに行われ、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができました。



種目 30種目

- インディアカ
- オリエンテーリング
- キンボールスポーツ
- グラウンド・ゴルフ
- 社交ダンス ● スポーツ吹矢
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- 綱引 ● ディスクゴルフ
- トライアスロン ● パークゴルフ
- バウンドテニス
- フライングディスク ● ペタンク
- 木球 ● ラージボール卓球
- ウォークラリー
- 健康ウォーキング
- キャンプ ● 3B体操
- 日本民謡 ● フォークダンス
- 武術太極拳 ● ホステリング
- マウンテンバイク
- レクリエーションダンス
- スポ・レク体験ひろば(福島市)
- スポ・レク体験ひろば(郡山市)
- スポ・レク体験ひろば(いわき市)

スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

①6/16 大玉村スポーツ少年団

実技：「スポーツと栄養」
講師：山崎有理子氏（公立藤田総合病院）

②6/28 二本松市立小浜小学校

実技：「小中学生の体力増強について家庭でできること」
「ストレス解消のためのストレッチ体操」
講師：鬼澤武則氏（おにざわ接骨院）

③7/6 ひめさゆりくらぶ

実技：「スポーツマッサージ」
講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）

④8/7 二本松市スポーツ少年団

実技：「ウォーミングアップ・クールダウン・ストレッチング講習会」
講師：二瓶敦志氏（ARCクリニックよしだ整形外科）

⑤9/8 そうま中央スポーツクラブ

実技：「ストレッチ講習会」
講師：相原 真氏（まこと接骨院）

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、10月までに延べ37名の相談員・講師を派遣しました。





生涯スポーツキャンペーン2013

親子体操教室

実技講習会



親子体操教室

2007年から始まった、生涯スポーツキャンペーン「親子体操教室」。今年は11月10日(日)に、南部アリーナ(いわき市)で開催しました。今年は、昨年度までの「親子体操教室」に加え、指導者や指導者を目指す学生を対象にした「実技講習会」も実施しました。講師には、毎回大人気のひろみちお兄さん(佐藤弘道氏)をお迎えし、いわき市を中心に3~6歳の未就学児とその家族、指導者や学生も合わせて914名の参加がありました。

子どもたちの「ひろみちお兄さん!」の元気な呼びかけで親子体操教室はスタート。歌や音楽に合わせてのプログラムはどれも楽しく、親子の笑顔や笑い声が会場いっぱいにあふれました。あっという間の1時間。子どもたちを持ち上げたり、支えたりするお父さんやお母さんはちょっと大変だったかもしれませんが、終了後はみなさん笑顔で会場を後にしていました。

午後の部の「実技講習会」。はじめは緊張した表情であった参加者のみなさんも、ひろみちお兄さんの楽しい話と体操で次第に緊張もほぐれて、積極的に身体を動かす姿が見られました。子どもたちが様々な運動感覚をつかむことができるような体操をたくさん教えていただきました。最後はとびっきりの笑顔で記念撮影を行いました。

今回は、いわき市や郡山市の保育園の先生方や学生、うつくしまスポーツルーターズの方々など、合計3名のボランティアの協力も得ることができ、運営を支えていただきました。ありがとうございました。



実技講習会



インフォメーション

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2014年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

第3回福島県 スポーツ指導者研修会

期日 平成26年1月26日(日)

締切 平成26年1月6日(月)

会場 サンフレッシュ白河

問合せ先

福島県スポーツ指導者協議会
024-938-7649

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(公財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

うつくしま広域スポーツセンター

平成25年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業研修会

西郷村文化センターを会場として、平成25年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業が開催されました。研修会では、ディスカッション1として、クラブアドバイザーの板垣氏より「アフターtotoの成長戦略を考える」をテーマとし、totoの助成金と県内クラブの現状やクラブのマネジメントについて説明がありました。そして、特色ある4クラブの若手マネジャーをパネラーとして迎え、今後の各クラブのビジョンや成長戦略について話いただきました。



コーディネーターの板垣氏(上)
パネラーのクラブマネジャー
稲田俊一氏(NPO法人かがみいしスポーツクラブ)
向後隼平氏(NPO法人ひのきスポーツクラブ)
藤田 健氏(はなわふれあいスポーツクラブ)
秩父重弘氏(かしま元気スポーツクラブ)



ディスカッション2では、グループディスカッションが行われました。「アフターtotoの成長戦略」を柱とし、クラブの課題・財務状況、今後の事など様々な視点から意見交換がなされました。約3時間の研修会で、クラブマネジャーとしての悩みやクラブの課題、クラブの活性化につながる内容を熱く語り合いました。



グループディスカッションの様子です。県ユニオン常任理事の方々を中心に進めました。

平成25年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流イベント

2日目は、「NEWSPORTSを楽しもう in 西郷」と題し、西郷村体育館を中心に周辺施設で開催されました。本大会は県ユニオン常任理事会での県中・県南地区開催の決定を受け、県中・県南ユニオンの実行委員が中心となって運営されました。当日は269名の参加者がパークゴルフ、グラウンドゴルフ、スナッグゴルフ、史跡巡りに分かれ、好天候の下でそれぞれの活動を楽しみ、交流を深めました。また、終了後には、おいしい豚汁ときゅうりの漬物が振る舞われました。主管クラブとして、大会成功に向けて協力していただきました西郷村の西の郷スポーツクラブの皆様、大変ありがとうございました。



パークゴルフの様子です。



おいしい豚汁をいただきました。



参加者全員での記念撮影です。

みんなでつくる総合型！
総合型地域スポーツクラブ

かしま元気 スポーツクラブ



かしま元気スポーツクラブは、平成21年3月29日、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に誰でも参加できる総合型地域スポーツクラブとして、南相馬市鹿島区に発足しました。

発足と同時に鹿島区内のスポーツ施設の指定管理業務も受託し、管理運営をしながらスポーツ教室やイベントなどを開催しています。

スポーツを楽しむ方ならどなたでも大歓迎！皆さんに喜んで参加してもらえるクラブを目指しています。

また、東日本大震災後、三重県津市の橋南スポーツクラブの橋南軟式野球部との絆を結び、交流活動を続けています。



スポーツ教室 (ドッジボール)



登山教室 (八甲田山)



ゴルフ大会



ウォーキング



バドミントン大会

主な活動

(イベント)

- ・パークゴルフ大会
- ・ウォーキング
- ・バドミントン大会
- ・トレッキング
- ・グラウンドゴルフ男女ペア大会
- ・ハイキング

(教室)

- ・卓球教室
- ・パークゴルフ教室
- ・バドミントン教室
- ・健康体操教室
- ・バウンドテニス教室
- ・ドッジボール教室
- ・登山教室
- ・スキー・スノーボード教室
- ・フラダンス教室
- ・ニュースポーツ教室
- ・ボクササイズ教室
- ・スポーツ教室 (ドッジボール、野球、バレーボール、サッカー、バドミントン)

(サークル)

- ・バレーボール
- ・バスケットボール
- ・野球
- ・ドッジボール
- ・バドミントン
- ・フットサル
- ・卓球
- ・エアロビクス
- ・レクリエーションダンス
- ・HIPHOP ダンス
- ・健康体操
- ・サッカー
- ・登山

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0246-29-8608
FAX 0246-29-8608

会津広域スポーツセンター (会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内)

〒965-0003 会津若松市一宮町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

平成25年度 賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体特別会員》

若松測量設計(株) (株)ダイユーエイト 福島県商工信用組合 福島テレビ(株)	福島県ゴルフ連盟 (株)環境分析研究所 クリナップ(株)いわき事業所 (社)福創世福祉事業団	福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株)テレビユー福島 東北建設(株)
--	---	--

《法人・団体会員》

(株)佐藤信博建築設計事務所 川俣貨物(株) 福島ヤクルト販売(株) 福島県信用金庫協会 (財)藤田教育振興会 (株)モリヨシ技研 大宝建設(株) (株)ウエディングエルティ 堀江工業(株) (株)福南電気 (株)クレハ環境 (株)福島中央テレビ FSGカレッジリーグ (株)幸楽苑 (株)旭電化 (一財)大原綜合病院 六陽印刷(株)	名鉄観光サービス(株)福島支店 菅野建設(株) 第一温調工業(株) 福浜大一建設(株) 東信建設(株) (有)カネチョウ坂本商店 原町港湾運送(株) クレハ錦建設(株) (株)クラロンスポーツ (株)セルラー電話サービス福島 江花建設(株) キング印刷(株) (株)海老名建設 タカラ印刷(株) (有)大波商店 (株)ファミリーケア (株)福島放送	(有)吾妻印刷 福島トヨタ自動車(株) 東北索道協会福島地区部会 (株)ル・プロジェ 磐城通運(株) (有)エンドースクリーン (株)日産サテリオ福島 福島日産自動車(株) (株)東北装美 (株)NIPPO福島統括事業所 (株)ユアテック福島支社 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (株)クレハ生産本部いわき事業所 (株)メディア・ネットワーク 関場建設(株) (株)佐藤商事 ※他に匿名希望 3 (法人・団体)
---	--	--

《個人特別会員》

御代田 公 男 山 本 和 子

《個人会員》

佐藤 祀 男 砂子田 敦 博 菅野 正 行 老岐 ひろみ 佐藤 昌 志 富田 孝 志 福田 順 一	森崎 俊 紘 北村 孝 男 深谷 秀 三 平石 家 治 福本 隆 片平 俊 夫 廣瀬 敬 彦	伊藤 隆 司 太田 豊 秋 佐藤 正 史 鈴木 浩 一 小松 信 之 堀田 満 阿部 正 美	穴戸 正 幸 鈴木 義 祐 渡邊 正 仁 佐藤 十 次 荒川 信 郎 佐藤 とも子 石田 洵	安藤 喜 勝 木村 喜八郎 佐久間 光 弘 永井 祥 一 国井 裕 一 下山田 好 宏 松井 遵一郎	結城 勝 夫 遠藤 均 野田 豪 一 櫻井 和 朋 長岐 博 安齋 常 吉
---	--	--	--	--	--

※他に匿名希望 2 (名)

(平成25年4月1日～平成25年11月30日) (ご入金日順・敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からのご支援により本県スポーツの推進を目的とする事業にご賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、賛助会員としてご入会いただき、本県スポーツの推進の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

○個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
○法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
公益財団法人 福島県体育協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

9月8日早朝、2020年オリンピック開催都市が東京に決定し、日本中が熱狂しました。また、スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会では、本県選手団の輝かしい活躍が光り、天皇杯順位で4年ぶりに30位台となる35位に躍進しました。選手団の活躍に多くの県民が感動し、勇気をもらいました。

今後とも県民の皆様に、さまざまなスポーツ情報を提供できるよう努力してまいりますので、ご愛読の程よろしく願います。

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険



みんなの笑顔で
ガッチリ
安心!

撮影協力：浦和パワーズスポーツ少年団（埼玉県）

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成25年4月1日午前0時より平成26年3月31日午後12時まで（申込受付は平成25年3月から）

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う **5** 名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円 身体・財物賠償 合算1事故500万円	
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 ◆自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

スポーツ安全協会 検索 インターネットからの加入受付を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL 024-526-4600 電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時(土、日、祝日を除く)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付しております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下担保))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または 東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成25年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上